

# 学校現場から悲鳴が聞こえる

## 第22回「LHRは何をしている？」

高等学校では週に1時間、ロングホームルーム（LHR）という枠があり、月曜日を除く他の曜日の7限目に入ることが一般的です。

LHRは、学習指導要領では「特別活動」として扱われ、2018年7月に文科省から出された新学習指導要領では、「特別活動」の中の「ホームルーム活動の目標」として次のように書かれています。

「ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力の育成することを目指す。」

少々回りくどい言い方ですが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組むことで資質・能力を育むと言えます。今年度は現行の学習指導要領で行われていますが、基本的には大きな違いはなく、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てるとあります。文言上では耳障りはいいのですが、学校での実態はどうなっているのでしょうか。

**記者** 年度初めにLHRの年間指導計画が作られると思うのですが、計画ではどうなっていますか。

**Cさん** 私は、LHRは学級裁量で、様々な活動ができると思っていたのですが、学級で自由に使える時間はわずかしかなかった。生徒指導や進路指導、学校行事がどんどん入ってきます。

**記者** 担任を持つと、まずは学級開きと称してゲームなどをした経験があります。「集団あそび」というゲームですが、ゲームを通して子ども達のさりげない動きを見ながら、一人ひとりの個性を掴もうとしました。仕切りの上手な子や流れになかなか乗れない子など、学級集団づくりに大いに役立ちました。

**Cさん** 学級開きは大事ですね。私も同感ですが、学級開きをやっている余裕がないというのが実情でしょうか。年度初めから進路指導のアンケート調査など様々なアンケート調査があります。

いじめについての生活アンケート、学習アンケートなどやたらとアンケートがあります。アンケートをとればパソコンに入力し、集計して報告する。この集計結果がどう生かされているのか、疑問に思うことが多々あります。先ほどの学級開きですが、やっている先生はほとんどいないのではないのでしょうか。若い人もベテランもどうやったらいいのか分からない先生の方が多いんじゃないかな。だから、学級裁量だと困るという側面もあり、LHRの時間に学年で統一したものをに入れて欲しいという声が多いのも事実です。情けないと思いますが。

**記者** 統一したものというと頭髪服装検査が年中行事のように入って来ましたね。

**Cさん** 毎月のように頭髪服装検査があります。生徒にとっては苦痛の時間です。

**記者** 最近の生徒たちはおとなしくなったと聞きますが、かつては頭髪服装検査

によって険悪なムードになり、生徒との関係が壊れたり指導の矛盾を感じたりと心の中では教員たちも苦痛の時間と感じていると思います。

**Cさん** 矛盾は感じていても、LHRの1時間に何をやるかと考えることの余裕がないというか面倒というか、安易な方向に行っていますね。

**記者** 学校の計画を見ると定期考査前は学習に当てられていたり、外部からの要請なのか、いろいろな講座が設けられていますね。

**Cさん** 必ずしも外部からというのではないですが、スマホ教室、薬物教室、交通安全教室、自転車の乗り方教室、DV防止教室、着こなしセミナー、年金セミナー、税金教室など沢山あります。特に、3年生は多いですね。着こなしセミナーは某洋服チェーン店がスーツの話などをします。

**記者** 勤めていた頃を思い出しますが、自転車点検が毎学期にあり、一人ずつ走らせてブレーキが効くか、ライトは点灯するか、雨具はあるかなど点検をしました。不備があると翌日から昼休みに再点検が続き、結構な負担でしたね。

**Cさん** 先ほどのアンケート集約もそうですが、一つひとつには実施する理由があるのですが、雑務と思えるようなものまであり、担任はパンク状態です。

**記者** 話の中身が教職員のブラックな勤務の実態を示すものになってきましたが、ホームルーム活動の目標でいう「諸問題を自主的・実践的に取り組む」という点ではどうでしょうか。生徒総会がありますが、校内の諸問題を話し合う場になっているのでしょうか。

**Cさん** 生徒会活動は自治活動と思いますが、教員の下請け機関になっているのではないのでしょうか。生徒総会は部活

動の予算等を決定するだけで、学校の諸問題やクラスの問題を討議する場になっていません。たまにあるという程度でしょうか。それから「いじめフォーラム」というものがありますが、生徒会役員が中心になってやることになっていますが、実際には担当の教員が大きくかかわり、担当者が忙しくなっただけで、それでいじめがなくなるかというところ簡単ではありません。

**記者** LHRの時間は、冒頭に示したように「課題解決のために話し合い、合意形成し」とあり、実践によっては民主的な主権者教育をすすめる貴重な時間ではないでしょうか。教科の授業とはひと味違った意味で重要な時間と言えると思うのですが、ここでも教職員の多忙という問題が教育活動に困難を与えているようです。さらに新学習指導要領では「道徳」が強化され、特別活動でも「道徳教育の中核的な指導の場面として関連づけるなど改善を行う」とあり、ますます窮屈な時間になるのではないかと心配です。

